日本の自然・防災

名前

問1　関東地方の河川に関する統計において、流域面積が約16,840平方キロメートルと日本で最大であり、群馬県を源流として千葉県北部などの下流域を経て太平洋に注ぐ河川の名称として最も適当なものを、次の中から選びなさい。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 信濃川
2. 荒川
3. 利根川
4. 石狩川

問2　新潟県上越市などの日本海側に位置する都市で見られる、降水量の推移の特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. 夏は太平洋からの季節風の影響で降水量が多くなるが、冬は乾燥した晴天の日が続く。
2. 冬の気温が氷点下になるほど非常に低く、年間を通して降水量は控えめである。
3. 季節風が山地に遮られるため、年間を通して降水量が比較的少なく、1,000mmを下回ることもある。
4. 冬に北西の季節風の影響を受けるため、1月や12月の降水量が月間300mmを超えるなど、夏よりも冬に降水量が多い。

問3　仙台駅から若林区にかけての地域では、南北に走る鉄道の東側に津波の浸水区域が広がり、鉄道沿いに宅地の被害が集中している様子がうかがえます。このような地形データと被害状況の関係について述べた文として、地理学的な観点から最も適切なものを選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 鉄道の西側は東側よりも標高が低いため、津波の被害は常に西側に集中するという法則が成り立つ
2. 津波は標高の高い場所を好んで浸水させる性質があるため、鉄道沿いの宅地が意図的に狙われたといえる
3. 鉄道の盛り土や標高のわずかな差が境界となり、浸水域や被害の程度に大きな影響を与えていることがわかる
4. 自然災害伝承碑が設置されている地点は、周囲よりも標高が極端に低いため、浸水被害を食い止める壁の役割を果たしている

問4　長崎県の五島列島付近から、平戸や佐世保などの沿岸を通り、対馬海峡を抜けて日本海へと北上していく海流があります。この海流の名称と性質の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）

1. リマン海流（寒流）
2. 日本海流（暖流）
3. 対馬海流（暖流）
4. 対馬海流（寒流）

問5　三陸海岸などの沿岸部において、鉄筋コンクリート製で高い位置に避難スペースを持ち、らせん階段などが備えられた「避難タワー」が整備されている主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 干ばつによる水不足に備え、高い場所に飲料水を蓄えるための貯水施設にするため
2. 地震後に発生する津波から、近くに高台がない場所でも一時的に命を守るため
3. 集中豪雨による土石流から逃れるため、鉄筋コンクリートで土砂を受け止めるため
4. 火山が噴火した際に放出される火山灰や火砕流を避けるためのシェルターとするため

問6　宮城県北部の三陸海岸に見られるような、山地が沈水して形成された、小さな岬と奥行きのある湾が複雑に入り組んでいる海岸地形を何と呼びますか。（2020年 島根県公立入試 類似）

1. カルデラ
2. 干拓地
3. リアス海岸
4. 砂州

問7　日本海側の気候に属する京都府北部の舞鶴市において、冬の時期に降水量（降雪を含む）が多くなる要因について、季節風と地形の関係から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 小笠原高気圧から吹き出す湿った南東の季節風が、山脈を越える際に水分を放出し、ふもとの地域に乾燥した風をもたらすため。
2. シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾いた北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇気流が生じるため。
3. 赤道付近で発生した低気圧が北上し、暖かい海水の影響を受けて冬場でも湿った空気が日本海側に流れ込み続けるため。
4. 年間を通して安定した偏西風が吹くことで、大陸からの乾燥した空気が常に供給され、上昇気流が発生しやすくなるため。

問8　三重県の志摩半島や福井県の若狭湾、岩手県の三陸海岸南部などに見られる、複雑な出入りを持つ海岸線において、その地形が形成された主な成因として正しいものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）

1. 川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、海に向かって平らな土地が広がったため
2. 海流によって運ばれた砂が細長く伸び、入り江を塞ぐような堤状の地形ができたため
3. 遠浅の海や湖を堤防で囲い、内部の水を排水して人工的に陸地を造成したため
4. 山地の谷の部分に海水が入り込み、小さな岬と湾が交互に並ぶ地形となったため

問9　四国や九州の太平洋側など、夏に降水量が多く冬に乾燥する「太平洋側の気候」において、夏に降水量が多くなる主な理由として正しいものを選択してください。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 暖流である対馬海流の影響により、一年中安定して湿った空気が供給されるため
2. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、日本海で水分を蓄えてから山を越えるため
3. 南東から吹き込む湿った季節風が山地にあたり、上昇気流が発生して雨を降らせるため
4. 標高が高いために一年を通して気温が低く、上昇気流が常に発生しやすい地形であるため

問10　日本の気候区分のうち、標高が高いために夏でも平均気温が20度程度と涼しく、冬の寒さは厳しい一方で、山々に囲まれているため年間降水量が2000mmを下回るという特徴を持つ区分を何と呼びますか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）

1. 日本海側の気候
2. 中央高地の気候
3. 太平洋側の気候
4. 瀬戸内の気候

問11　扇状地は砂や小石が厚く積み重なってできているため、水が地下に染み込みやすく、地表の水が得にくいという性質があります。この地形的特徴を背景として、扇状地で古くから発達してきた土地利用について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 愛媛県公立入試 類似）

1. 水はけの良さを利用した、ブドウや桃などの果樹園
2. 土砂崩れのリスクを避けるために整備された、広大な森林保護区
3. 地下水が豊富であることを利用した、大規模な水田地帯
4. 土地が平坦であることを利用した、大規模な工業団地

問12　日本の諸都市の気候を比較した際、1月の平均気温が約-0.6度となる長野市のような内陸部の都市と、1月の平均気温が約6.7度と温暖な静岡市のような太平洋側の都市で見られる気候の差について、その要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 内陸部の都市はシベリア高気圧から吹き出す季節風を直接受けるため冬の降水量が多くなり、太平洋側の都市は対馬海流の影響で夏と冬の気温差が極めて小さくなる。
2. 内陸部の都市は季節風の影響で夏に降水量が集中するが、太平洋側の都市は山地によって季節風がさえぎられるため、夏と冬の気温差が内陸部よりも大きくなる。
3. 内陸部の都市は緯度が高いために冬の気温が下がり、太平洋側の都市は小笠原高気圧の影響を一年中受けることで、1月の平均気温が氷点下になることがない。
4. 内陸部の都市は標高が比較的高く、海から離れているため冬の夜間の放射冷却の影響を受けやすい一方で、太平洋側の都市は暖流である黒潮の影響を受けやすく、冬でも晴天が多いため気温が下がりにくい。